

2021年8月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年10月15日

上場会社名 and factory株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7035 URL <https://andfactory.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 倫治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 蓮見 朋樹 (TEL) 03-6712-7646
 定時株主総会開催予定日 2021年11月25日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2021年11月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期の業績 (2020年9月1日~2021年8月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期	3,044	3.3	△83	—	△239	—	△561	—
2020年8月期	2,946	△24.8	△202	—	△259	—	△362	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年8月期	△57.13	—	△48.1	△4.1	△2.7
2020年8月期	△37.01	—	△22.3	△5.5	△6.9

(参考) 持分法投資損益 2021年8月期 一百万円 2020年8月期 一百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年8月期	5,376	888	16.5	90.28
2020年8月期	6,343	1,449	22.8	147.41

(参考) 自己資本 2021年8月期 887百万円 2020年8月期 1,448百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年8月期	△118	△79	△55	774
2020年8月期	△3,282	△316	3,274	1,028

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2022年8月期の業績予想（2021年9月1日～2022年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	3,050	0.2	170	—	△47	—	△40	—	円 銭 △4.07

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（2）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期	9,827,120 株	2020年8月期	9,827,120 株
② 期末自己株式数	2021年8月期	257 株	2020年8月期	257 株
③ 期中平均株式数	2021年8月期	9,826,863 株	2020年8月期	9,782,799 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2021年10月15日（金）に機関投資家及びアナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 財務諸表及び主な注記	6
(1) 貸借対照表	6
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報等)	12
(持分法損益等)	15
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社の主要な事業領域である電子書籍市場については、インプレス総合研究所の「電子書籍ビジネス調査報告書2021」によれば、2020年度の電子書籍市場規模は4,821億円で、前年度の3,750億円から28.6%増加し、そのうち83.0%にあたる4,002億円をコミックが占めております。昨年の同研究所の「電子書籍ビジネス調査報告書2020」では、2020年度の電子書籍市場規模の予測は、4,442億円であったことから、予測を上回る結果となっております。また、2025年度には電子書籍市場は2020年度の約1.4倍の6,747億円に拡大すると予想されています。

当社は、「日常に&を届ける」をミッションとして掲げ、中核事業となるAPP事業において、主に大手出版社と共同開発したスマートフォン向けのマンガアプリの収益拡大に注力してまいりました。

当事業年度においては、一部のマンガアプリにおいて、収益性の向上を意識したユーザー獲得施策の推進や一時休載していた人気作品の連載再開によりARPU（注1）が上昇傾向に転じたこと、広告宣伝費を効率的に投下したことにより、売上高、営業利益ともに前年同期と比較して増加しました。

一方で、当事業年度においては、海賊版マンガサイトの利用者拡大が当社の事業拡大に対してネガティブに働いているとも推察しております。ユーザー数は引き続き堅調に推移しているものの、潜在的な利用者獲得を阻害している可能性や課金売上の低下要因の一つとなっている可能性が指摘されます。

また、もう一つの事業セグメントであるIoT事業においては、宿泊領域のテクノロジー化を事業方針として、スマートホテル「&AND HOSTEL」の開発・運営を行うとともに、宿泊管理システム「innto」、客室タブレットサービス「tabii」等宿泊施設向けのIoTソリューションサービスの提供を展開してまいりました。また、賃貸不動産領域においても、管理会社と入居者をつなぐ、コミュニケーションアプリ「totono」の開発・運営を推進してまいりました。一方で、コロナ禍を契機としてIoT事業がターゲットとしている宿泊領域、賃貸不動産領域を取り巻く事業環境は大きく変化しており、足許の財務健全性維持ならびに収益性確保が喫緊の課題となっております。中長期的な事業成長に向けて、より当社が強みを有する事業や新規事業の創出に経営資源を集中することが必要であると判断し、当事業年度において、IoT事業構造改革を発表し実行しております。innto事業、tabii事業、totono事業に関しては事業譲渡及び引継ぎ業務が概ね完了しつつあり、&AND HOSTEL事業における収益の改善施策に関しても一定の目途がついている状況にあります。また、今後の中期的な事業方針を示していくという観点から、2021年8月には当社として初となる中期経営計画の公表を行っており、2024年8月期をターゲットとする各種経営目標の達成に向けて取り組みを進めております。

以上の結果、当事業年度における売上高は3,044,429千円（前年同期比3.3%増）、営業損失83,567千円（前年同期は営業損失202,589千円）、経常損失239,793千円（前年同期は経常損失259,767千円）、当期純損失561,392千円（前年同期は当期純損失362,077千円）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。なお、当事業年度より、報告セグメントの名称及び区分を変更しており、当事業年度の比較・分析は、変更後の区分に基づいて記載しております。

① APP事業

当事業年度において、「マンガUP!」、「マンガPark」、「マンガMee」など既存マンガアプリについては、積極的な広告宣伝の実施や新規連載開始等によりMAU（注2）が増加しました。さらに、人気コンテンツの掲載延長、作品追加等によって、サービス提供を開始して以降、好調に推移しております。また、2020年5月にリリースした株式会社集英社と共同開発したマンガアプリ「ヤンジャン!」及び2020年5月にリリースした株式会社アムタスと共同開発したマンガアプリ「めちゃコミックの毎日連載マンガアプリ」についても、リリース以降、着実にMAUが増加しており、当社の収益に貢献しております。

一方で、ARPUは横ばいで推移し、一部広告主におけるリワード単価の引き下げ及び新型コロナウイルス感染症の影響による広告市況全体の悪化により広告収益が減少しました。売上全体としては引き続き堅調に拡大が続いており、積極的な広告宣伝費の投下を実施しております。

この結果、当事業年度におけるAPP事業の売上高は2,767,945千円（前年同期比8.3%増）、セグメント利益は589,810千円（前年同期比55.9%増）となりました。

- (注) 1. Average Revenue Per Userの略称であり、ユーザー一人当たりの収益単価であります。
 2. Monthly Active Userの略称であり1ヶ月に一度でもアプリを利用したユーザーの数を指します。

当社のAPP事業において運営するスマートフォンアプリのうち、「マンガアプリ」の四半期毎の平均MAU数の推移は下表のとおりであります。

(単位：万人)

年月	平均MAU数	年月	平均MAU数
2017年5月末	31	2019年8月末	532
2017年8月末	65	2019年11月末	641
2017年11月末	108	2020年2月末	720
2018年2月末	150	2020年5月末	906
2018年5月末	204	2020年8月末	994
2018年8月末	238	2020年11月末	1,026
2018年11月末	279	2021年2月末	1,054
2019年2月末	362	2021年5月末	1,056
2019年5月末	430	2021年8月末	1,101

(注) 上記の平均MAU数は、各四半期における平均値を記載しております。

② IoT事業

当事業年度において、当社が注力するIoT体験型宿泊施設であるスマートホテル「&AND HOSTEL」では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けた前事業年度に比べ、一部店舗においてターゲットやコンセプトの転換を図り、新規顧客層の獲得を推進した結果、稼働率は回復基調となりました。一方、顧客単価は回復基調にはあるものの依然低い水準にあり、各店舗の運営収益は前年同期と比較して横ばいで推移しました。innto事業、tabii事業、totono事業においては、事業譲渡を見据えた事業運営により、当事業年度末にかけて売上は期初計画を下振れて推移しました。

この結果、当事業年度におけるIoT事業の売上高は276,483千円（前年同期比17.9%減）、セグメント損失は267,204千円（前年同期はセグメント損失187,064千円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における総資産は5,376,550千円となり、前事業年度末に比べ967,298千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が253,594千円、立替金が189,327千円、未収還付法人税等が128,403千円、また未収消費税等が213,333千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当事業年度末における負債合計は4,488,258千円となり、前事業年度末に比べ405,905千円減少いたしました。これは主に買掛金が237,879千円、短期借入金が190,000千円、未払金が194,079千円減少したこと、一方で長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）が134,236千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産は888,292千円となり、前事業年度末に比べ561,392千円減少いたしました。これは主に当期純損失の計上により利益剰余金が561,392千円減少したこと等によるものであります。

なお、自己資本比率は16.5%（前事業年度末は22.8%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べて253,594千円減少し、774,726千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度における営業活動の結果使用した資金は、118,116千円（前事業年度は3,282,905千円の支出）となりました。これは、主に、立替金の減少額189,327千円、未収消費税等の減少額213,333千円、法人税等の還付額127,980千円があった一方で、税引前当期純損失の計上557,613千円、仕入債務の減少額237,879千円、未払金の減少額213,143千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度における投資活動の結果使用した資金は、79,713千円（前事業年度は316,099千円の支出）となりました。これは、主に、事業譲渡による支出39,786千円、無形固定資産の取得による支出30,996千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度における財務活動の結果使用した資金は、55,764千円（前事業年度は3,274,392千円の収入）となりました。これは、長期借入れによる収入400,000千円があった一方で、短期借入金の純減少額190,000千円、長期借入金の返済による支出265,764千円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

当社が事業を展開する領域においては、技術革新のスピードが早く、また、市場の成長を見込んだ新規参入企業の増加により、市場環境の変化が激しくなっております。

当社が今後さらに業容を拡大し、成長と発展を遂げるために、当社の経営陣は、変化の激しい環境の中で様々な課題に対処していく必要があることを認識し、今後も価値の高いサービスの展開と成長への投資を積極的に行い、「成長性と収益性の両立」を継続することで企業価値の最大化を図ってまいります。

2022年8月期におけるAPP事業におきましては、新規マンガアプリの開発案件の獲得を引き続き進めていくとともに、電子書籍市場の拡大に伴い、収益性に考慮した上で広告宣伝費の積極投下を継続してまいります。さらに、マンガアプリのみならず、新たな収益基盤の確立に向けた事業創出への取り組みにも注力してまいります。

特にWebtoon（縦スクロール前提、フルカラー等の特徴を持つスマートフォン等での閲覧に適したマンガコンテンツ）事業領域への参入を重点施策として位置付けており、サービスインに向けて準備を進めております。海賊版マンガサイトの利用者拡大については、今後も一定程度当社のマンガアプリ事業に対してマイナスの影響を与え得るものと認識しておりますが、当社オリジナルのコンテンツ創出や既存アプリにおけるマーケティング施策等による差別化を通じて引き続き事業の拡大を目指してまいります。また、占い事業においては地道な成長施策が奏功し、徐々に収益貢献が増大しております。2022年8月期においては占い事業においても一定の広告宣伝費を投じる予定であり、成長の加速を目指してまいります。

IoT事業におきましては、「&AND HOSTEL」において、訪日外国人が利用客の大半を占めていたため、海外からの入国規制が継続している状況下においては、コロナ禍以前の稼働状況まで回復することは短期では難しいと考えております。ターゲット先を国内需要へ転換し施策を講じることや地道なコスト削減施策の導入等を通じて赤字幅の縮小に積極的に取り組んでまいります。また、その他のIoT事業においては概ね事業譲渡や大幅な縮小が完了しており、営業損失が大きく縮小する見込みとなっております。構造改革を通じた改善効果については、2021年6月に発表している影響額試算から大きな乖離なく今期より発現する予定であります。

以上から、2022年8月期の業績予想といたしましては、売上高3,050百万円（対前期比0.2%増）、営業利益170百万円（前年同期は営業損失83百万円）、経常損失47百万円（前年同期は経常損失239百万円）、当期純損失40百万円（前年同期は当期純損失561百万円）を見込んでおります。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）適用時期等につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当事業年度 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,028,320	774,726
売掛金	622,887	542,419
仕掛品	7,366	19
販売用不動産	3,163,946	3,148,397
立替金	417,388	228,061
未収還付法人税等	128,403	—
未収消費税等	213,333	—
その他	80,293	49,547
貸倒引当金	△15	△9,830
流動資産合計	5,661,925	4,733,342
固定資産		
有形固定資産		
建物	47,356	11,599
機械及び装置	1,088	1,088
工具、器具及び備品	52,618	58,788
減価償却累計額	△79,903	△37,356
有形固定資産合計	21,159	34,118
無形固定資産		
ソフトウェア	131,778	68,836
無形固定資産合計	131,778	68,836
投資その他の資産		
投資有価証券	228,781	257,295
敷金及び保証金	289,486	281,658
その他	10,717	1,298
投資その他の資産合計	528,984	540,252
固定資産合計	681,922	643,207
資産合計	6,343,848	5,376,550

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当事業年度 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	358,975	121,095
短期借入金	515,000	325,000
1年内返済予定の長期借入金	270,608	277,136
未払金	662,348	468,268
未払法人税等	—	8,354
賞与引当金	3,375	—
株主優待引当金	38,527	35,783
その他	9,257	89,289
流動負債合計	1,858,092	1,324,928
固定負債		
長期借入金	3,026,634	3,154,342
長期預り保証金	9,437	8,987
固定負債合計	3,036,071	3,163,329
負債合計	4,894,163	4,488,258
純資産の部		
株主資本		
資本金	549,720	549,720
資本剰余金		
資本準備金	548,361	548,361
資本剰余金合計	548,361	548,361
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	351,061	△210,331
利益剰余金合計	351,061	△210,331
自己株式	△572	△572
株主資本合計	1,448,569	887,177
新株予約権	1,114	1,114
純資産合計	1,449,684	888,292
負債純資産合計	6,343,848	5,376,550

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
売上高	2,946,007	3,044,429
売上原価	1,372,426	1,373,496
売上総利益	1,573,581	1,670,933
販売費及び一般管理費	1,776,170	1,754,500
営業損失(△)	△202,589	△83,567
営業外収益		
受取利息	28	9
補助金収入	—	32,180
保険解約返戻金	743	2,411
その他	132	1,956
営業外収益合計	903	36,557
営業外費用		
支払利息	20,448	29,572
支払手数料	37,634	—
地代家賃	—	158,719
その他	—	4,491
営業外費用合計	58,082	192,783
経常利益	△259,767	△239,793
特別利益		
事業譲渡益	—	26,999
特別利益合計	—	26,999
特別損失		
事業譲渡損	—	39,786
事業構造改革費用	—	252,371
臨時休業等による損失	44,916	—
減損損失	73,839	52,465
固定資産除却損	—	196
投資有価証券評価損	9,959	—
特別損失合計	128,715	344,819
税引前当期純損失(△)	△388,483	△557,613
法人税、住民税及び事業税	△54,600	3,779
法人税等調整額	28,194	—
法人税等合計	△26,406	3,779
当期純損失(△)	△362,077	△561,392

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本						新株予約権	純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式			株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	543,263	542,174	542,174	713,138	713,138	△452	1,798,123	—	1,798,123
当期変動額									
新株の発行(新株予約権の行使)	6,456	6,187	6,187				12,643		12,643
自己株式の取得						△120	△120		△120
当期純損失(△)				△362,077	△362,077		△362,077		△362,077
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							—	1,114	1,114
当期変動額合計	6,456	6,187	6,187	△362,077	△362,077	△120	△349,553	1,114	△348,438
当期末残高	549,720	548,361	548,361	351,061	351,061	△572	1,448,569	1,114	1,449,684

当事業年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本						新株予約権	純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式			株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	549,720	548,361	548,361	351,061	351,061	△572	1,448,569	1,114	1,449,684
当期変動額									
当期純損失(△)				△561,392	△561,392		△561,392		△561,392
当期変動額合計	—	—	—	△561,392	△561,392	—	△561,392	—	△561,392
当期末残高	549,720	548,361	548,361	△210,331	△210,331	△572	887,177	1,114	888,292

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純損失(△)	△388,483	△557,613
減価償却費	132,788	83,084
減損損失	73,839	52,465
固定資産除却損	—	196
臨時休業等による損失	44,916	—
事業譲渡損益(△は益)	—	12,786
投資有価証券評価損益(△は益)	9,959	—
事業構造改革費用	—	252,371
貸倒引当金の増減額(△は減少)	15	9,814
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,375	△3,375
株主優待引当金の増減額(△は減少)	28,231	△2,743
受取利息	△28	△9
補助金収入	—	△32,180
支払利息	20,448	29,572
地代家賃	—	158,719
売上債権の増減額(△は増加)	△138,843	80,468
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,908,499	△5,336
前払費用の増減額(△は増加)	△5,515	3,452
立替金の増減額(△は増加)	△138,937	189,327
未収消費税等の増減額(△は増加)	△213,333	213,333
仕入債務の増減額(△は減少)	260,673	△237,879
未払金の増減額(△は減少)	261,632	△213,143
その他	△83,845	107,802
小計	△3,041,605	141,114
利息及び配当金の受取額	28	9
利息の支払額	△22,358	△27,766
補助金の受取額	—	32,180
地代家賃の支払額	—	△146,349
事業構造改革費用の支払額	—	△244,291
臨時休業等による支出	△44,916	—
法人税等の支払額	△183,167	△994
法人税等の還付額	9,114	127,980
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,282,905	△118,116
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△23,108	△27,070
無形固定資産の取得による支出	△91,353	△30,996
敷金及び保証金の差入による支出	△45,881	—
敷金及び保証金の回収による収入	2,821	31,239
投資有価証券の取得による支出	△160,144	△28,514
資産除去債務の履行による支出	—	△23,730
事業譲渡による収入	—	27,000
事業譲渡による支出	—	△39,786
その他	1,565	12,144
投資活動によるキャッシュ・フロー	△316,099	△79,713
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	450,000	△190,000
長期借入れによる収入	2,931,702	400,000
長期借入金の返済による支出	△120,949	△265,764

その他	13,638	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,274,392	△55,764
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△324,613	△253,594
現金及び現金同等物の期首残高	1,352,934	1,028,320
現金及び現金同等物の期末残高	1,028,320	774,726

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の拡大による経済への影響が継続しており、当社の事業活動にも影響を及ぼしております。広告市況の悪化に伴うマンガアプリの広告収益の縮小及び、当社が運営する「&AND HOSTEL」における稼働率や顧客単価の低下等、足元の業績に影響が生じております。2021年7月8日付で4度目の緊急事態宣言が発令され、2021年9月30日に発令は解除されたものの、依然として収束時期等を予測することは困難な状況にあり、販売用不動産の評価、固定資産に関する減損損失の計上要否の判断及び繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りを行うにあたっては、財務諸表作成時に入手可能な情報に基づき、2022年8月期以降は段階的に縮小するものと仮定し、会計上の見積りを行っております。

なお、現時点での収束時期を正確に見積ることは困難であることから、上記の仮定に変化が生じた場合には将来における財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

各報告セグメントは、それぞれ特徴の異なる商品を取り扱っており、収益・財務構造及び営業戦略が異なることから、それぞれ独立した報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

APP事業は、主に、スマートフォンアプリの開発及び運用、また、アプリ内のモバイル広告枠の販売を行っております。

IoT事業は、主に、スマートホステル「&AND HOSTEL」の企画及び開発、宿泊施設向けIoTソリューションサービスの提供等を行っております。

(3) 報告セグメントの変更等に関する事項

当事業年度より、「Smartphone APP事業」の事業領域を見直し、Smartphoneに限定しない幅広いAPPサービスの提供を行うための組織変更を行いました。これに伴い、従来の「Smartphone APP事業」は「APP事業」にセグメント名称を変更しております。

また、APP事業に関連するインターネット広告の代理サービス事業を、APP事業で管掌する組織変更を行いました。

なお、前事業年度のセグメント情報については、変更後の名称及び区分方法により作成したものを記載しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益又は営業損失(△)ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	APP事業	IoT事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,557,035	336,563	2,893,598	52,409	2,946,007
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,557,035	336,563	2,893,598	52,409	2,946,007
セグメント利益又は損失(△)	378,375	△187,064	191,311	3,902	195,213
セグメント資産	1,438,442	3,705,829	5,144,272	16,994	5,161,266
その他の項目					
減価償却費	75,283	47,034	122,318	—	122,318
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	80,522	27,832	108,354	—	108,354

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にインターネット広告代理に係る事業であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「APP事業」セグメントにおいて、事業用資産に係る固定資産の減損損失を44,354千円計上しています。

「IoT事業」セグメントにおいて、事業用資産に係る固定資産の減損損失を7,657千円計上しています。

「全社・消去」において、セグメントに帰属しない全社資産に係る固定資産の減損損失21,826千円を計上しております。

当事業年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	APP事業	IoT事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,767,945	276,483	3,044,429	—	3,044,429
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,767,945	276,483	3,044,429	—	3,044,429
セグメント利益又は損失(△)	589,810	△267,204	322,605	△2,419	320,186
セグメント資産	834,918	3,240,526	4,075,445	—	4,075,445
その他の項目					
減価償却費	37,421	40,071	77,493	5	77,498
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	35,377	1,443	36,821	—	36,821

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に新技術等を用いたエンターテインメント領域に係る事業であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「APP事業」セグメントにおいて、事業用資産に係る固定資産の減損損失を33,853千円計上しています。

「IoT事業」セグメントにおいて、事業用資産に係る固定資産の減損損失を18,611千円計上しています。

4 報告セグメント合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	2,893,598	3,044,429
「その他」の区分の売上高	52,409	—
財務諸表の売上高	2,946,007	3,044,429

(単位：千円)

利益	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	191,311	322,605
「その他」の区分の利益(△は損失)	3,902	△2,419
全社費用(注)	△397,802	△403,753
財務諸表の営業損失(△)	△202,589	△83,567

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：千円)

資産	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	5,144,272	4,075,445
「その他」の区分の資産	16,994	—
全社資産(注)	1,182,581	1,301,104
財務諸表の資産合計	6,343,848	5,376,550

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金等であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		財務諸表計上額	
	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度
減価償却費	122,318	77,493	—	5	10,470	5,586	132,788	83,084
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	108,354	36,821	—	—	6,900	19,167	115,254	55,989

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない本社建物の取得価額であります。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
1株当たり純資産額	147.41円	90.28円
1株当たり当期純損失金額(△)	△37.01円	△57.13円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失金額(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
1株当たり当期純損失金額(△)		
当期純損失(△)(千円)	△362,077	△561,392
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純損失(△)(千円)	△362,077	△561,392
普通株式の期中平均株式数(株)	9,782,799	9,826,863
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。